

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州池田町地酒で乾杯 酒蔵めぐり
事業主体 (連絡先)	池田町観光推進本部 (観光推進室 片瀬 登 TEL0261-62-9197)
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,776,280円 (うち支援金: 1,174,000円)

事業内容

当町には地場産米を用い北アルプスの清らかな伏流水を使用する酒蔵が池田町には2蔵あり、いずれも創業100年を超える老舗でこれまで県知事賞をはじめ、数々の受賞歴を有する地酒を生産しています。近年、国内外で日本酒が注目されていることもあり、池田町産地酒の新たな需要の掘り起こし販路の拡大、併せて池田町のブランド力向上を目的として『信州池田町地酒で乾杯酒蔵めぐり』を開催しました。

更にイベント開催のPR活動を通じて、日本酒銘柄及び池田町の知名度向上を併せて目的としました。

【イベント開催風景】



事業効果

支援金を活用した開催告知活動により、初日は荒天であったにもかかわらず、晴天を条件に設定した2日間で延べ誘客数3,000人を達成することができました。

会場名	初日(5/26)	2日目(5/27)	合計
大雪溪酒造	1,600人	1,900人	3,500人
福源酒造	320人	380人	700人
合計	1,920人	2,280人	4,200人

算出方法 大雪溪会場：受付通過者×2.5人  
福源酒造：バス利用者＋(駐車台数×2.5人)  
道の駅：人数重複の為、誘客数集計に含めない

また、それぞれの酒蔵の特色を活かした開催形式に改めたことにより知名度の高い大雪溪酒造のみならず、福源酒造の認知度・評価が向上しました。

【目標・ねらい】

イベント開催により地酒の需要拡大及び池田町来訪への動議づけ並びに当町のブランド力の向上。

※自己評価【A】

【理由】

目標設定した誘客数3,500人を大幅に超過し、個人情報収集も図れた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

徐々にではあるが、本イベントの知名度向上の手応えも感じられるようになり、先に本支援金を活用して、実績を上げている“信州池田町ワイン祭り”とともに初夏の日本酒、実りの秋のワインと池田町への『銘酒の街』といったブランドイメージ定着に向けて、他業種との連携も含めて取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある